

日本民家園だより

特集 うんことくらし

vol.92

企画展「うんことくらし —便所から肥やしまで—」
2020年1月4日(土)~5月31日(日)

日本民家園

おべんじょマップ

さがしてみよう!
せんぶ見つけれられるかな?

長野県佐久穂町

佐々木さん



お客さん用です。
たたみがしてありますね。



おしっこ用です。
女の人も使いました。

神奈川県秦野市

北村さん



おしっこ用です。

★しちやだめだよ

神奈川県川崎市

小泉さん



そとべんじょ
「外便所」といって庭にありました。
右がうんこ用、左がおしっこ用です。

福島県福島市

鈴木さん



鈴木さんは宿屋やどやをやっていました。
これは泊まり客用です。

おべんじょは
どこかな?



岩手県紫波町

工藤さん



うんこ用です。
いろいろの灰など、肥料の
置き場としても使っていました。



おしっこ用です。

千葉県九十九里町

作田さん



お客さん用です。
手前がおしっこ用で奥がうんこ用。

富山県南砺市

山田さん



手前の小さな合掌造りが便所です。

神奈川県川崎市

原さん



お客さん用です。
(ここだけはみなさんも使えます!)

民家の便所

水で流す水洗式トイレが一般的になったのは高度経済成長期（昭和 30～40 年代）です。それまでは「ポットン便所」というくみ取り式のトイレが使われていました。便所の床下に、木や陶器、^{とうき}コンクリートなどで作られた、大小便をためるための「便つぼ」があったのです。

昭和 50 年代前半、座って使う洋式便器の販売数が、しゃがんで使う和式便器を抜きます。このころまでは大便所と小便所が分かれていたり、大便所が家の外にあったりすることも少なくありませんでした。

使う人によって、便所が分かれていることもありました。村のなかでも、^{なめし}名主（村長）や、^{あみもと}網元（網や船を持ち、^{やと}漁師を雇って漁業をする人）などの大きな家では、来客用の便所が一つの部屋として作られていることもあります。しかし、家族が毎日使う便所は、たいてい間仕切りのない空間にありました。たとえば、小便所は家の前や土間にあり、簡単な^{めかく}目隠ししかなかったのです。農作業の合間に、^{よご}汚れた着物で床上に上がることなくすぐに使えるので便利でした。しかし、夜や冬は、暗くて寒い外へ出なければならぬため大変でした。

ところで、便つぼにたまったものはどうなるのでしょうか。実は、かつて大便や小便は、田んぼや畑の肥料（「下肥」といいます）として使われていたのです。便つぼからくみだしたものを田畑の^{こえ}肥だめへと運び、^{はっこう}発酵させてから肥料として使っていました。田畑に直接まいたほか、灰や落ち葉と混ぜて使うこともありました。下肥は、化学肥料の広まりや衛生上の問題で使われなくなりましたが、昭和 40（1965）年ごろまでは川崎市の農家でも利用されていたのです。（玉井里奈）



農家の肥料小屋の肥だめ（東京都世田谷区用賀 1975 年ごろ）
写真提供：世田谷区教育委員会



肥びしゃく（川崎市宮前区馬絹）
1m 50cm もある長いひしゃくです。
便つぼから大小便をくみだしたり、田畑にまいたりするのに使いました。



天びん棒（川崎市多摩区菅馬場）と肥おけ（川崎市多摩区生田）
くみだした大小便を入れ、棒の両はしに下げてかつぎます。
おけいっぱい入れると非常に重く、運ぶのは大人でも大変でした。

日本民家園だより vol.92

発行：令和 2（2020）年 1 月 4 日

川崎市立日本民家園 URL <http://www.nihonminkaen.jp/>

〒214-0032 川崎市多摩区枳形 7-1-1 TEL 044(922)2181 FAX 044(934)8652

交通 小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車南口より徒歩 13 分

開園時間 [3 月～10 月] 9 時 30 分～17 時 [11 月～2 月] 9 時 30 分～16 時 30 分（入園は開園 30 分前まで）

休園日 毎週月曜日（祝日の場合は開園）、祝日の翌日（土日・祝日の場合は開園）、12 月 29 日～1 月 3 日 ※その他臨時休園あり

入園料 一般 500 円、高校・大学生 300 円（要学生証）、65 歳以上 300 円（川崎市在住の方無料、要証明書）、中学生以下無料